

未来型システム思考で変わる DX/業務改革研修



**こんなことにお悩みの
企業やチームにおすすめ！**



DX推進や新規サービス開発を担う人材を
育成したいが、その方法が分からない



DX担当者に任命されたけど
何から取り組めばいいんだろう



経営、マネージャー、現場の間で意見
や認識が合わず、たびたび問題が起
こっている

未来型システム思考を学び、実践することで DX/業務変革に必要な力を身につける

複雑さ・不確実性が増している昨今のビジネス環境では、DX や既存業務の改革が益々求められるようになってきています。

この流れの中で各社 IT リテラシーなどの基礎教育には力を入れつつありますが、ITツールの導入ではなく、業務の変革まで踏み込むような、いわゆる DX を行うにはリテラシーだけでは足りないという声が聞こえてきます。

これは、業務変革まで踏み込む場合、課題の定義や業務自体のあるべき姿の設計、それに必要なITシステムなど一度に考えないといけないことが飛躍的に増え、かつそれらが状況に応じて変化するためです。

この複雑さ、不確実性を取り扱う力がそもそも欠けていると、推進がうまくできず、DXは名ばかりの状態になってしまいます。

レヴィでは、そのような状況下には弊社が提唱する「未来型システム思考」が役に立つと考えています。

より多くの方にこの未来型システム思考を身につけていただき、問題を発見・整理し、あるべき姿を描き、多様な他者と協調しながら価値を創造していく（=DX/ 業務改革を推進していく）力を養うための研修をご用意いたしました。

レヴィ独自の実践に繋がる研修方式

ではどうやったら、そのようなスキルが身につくのでしょうか？

こういったソフトスキルに近いものを身につけるには、座学的な知識だけでなく、ワークショップなどの実践に近い、もしくは実践を通じた研修がもっとも効果的です。

さらに、レヴィでは研修で学んだ内容を実務で実現できるようになることが重要だと考えており、単に研修の中の題材だけで終わるのではなく、実際の業務ではどのように利用できるか？までをイメージできるような研修構成を意識しています。

「DX/業務改革研修」の流れ（一例）

レヴィが開発したボードゲーム「ペジテの自転車」を通じて、システム開発の流れやありがちな難しさを疑似体験し、未来型システム思考の必要性を体感していただきます。（「ペジテの自転車」は、ご要望に応じ

たオプションとなっております。開発未経験者/実務経験の少ない若手が多い場合は、ペジテの自転車によるシステム開発体験を行うことで受講者全員の目線を揃えられるなどの効果も期待できます)

その後、未来型システム思考とその基本概念の講義と Balus を使った簡単なワークを体験することで、必要性和その効果を学びます。

そして、未来型システム思考を DX/業務改革で実践するために必要なやり方 (KATA) やコツなどについて動画を主体にした個人ワーク、仮想 PJ を題材にしたチームによるワークの組み合わせで学習し、深い理解に導きます。



さらに「入門」受講後の「実践」では、受講者が実務で扱っているテーマを題材にし、より現場を想定した KATA の実践活用を促します。

選ばれる理由

- 学び→即実践のワーク主体の研修進行
 - 座学は必要最小限に、グループワークにより受講者同士で学びの理解を深めます。
 - 各グループに講師がついてサポートします。
- 他分野にも応用可能な知識・手法
 - DX / 業務改革をテーマとしていますが、他分野でも活用可能な問題解決の手法を取り扱っているため、幅広い業務で役立つ知識・手法を習得することが可能です。
- Balus で円滑、かつ活発なコミュニケーションを促進
 - 弊社が開発した Balus を使うことで、リモート研修でも隣にいるかのように活発なコミュニケーションを図ることが可能です。
 - 話すだけでなく、Balus 上でのやり取りが受講者同士のコミュニケーションを促進します。

受講者の声

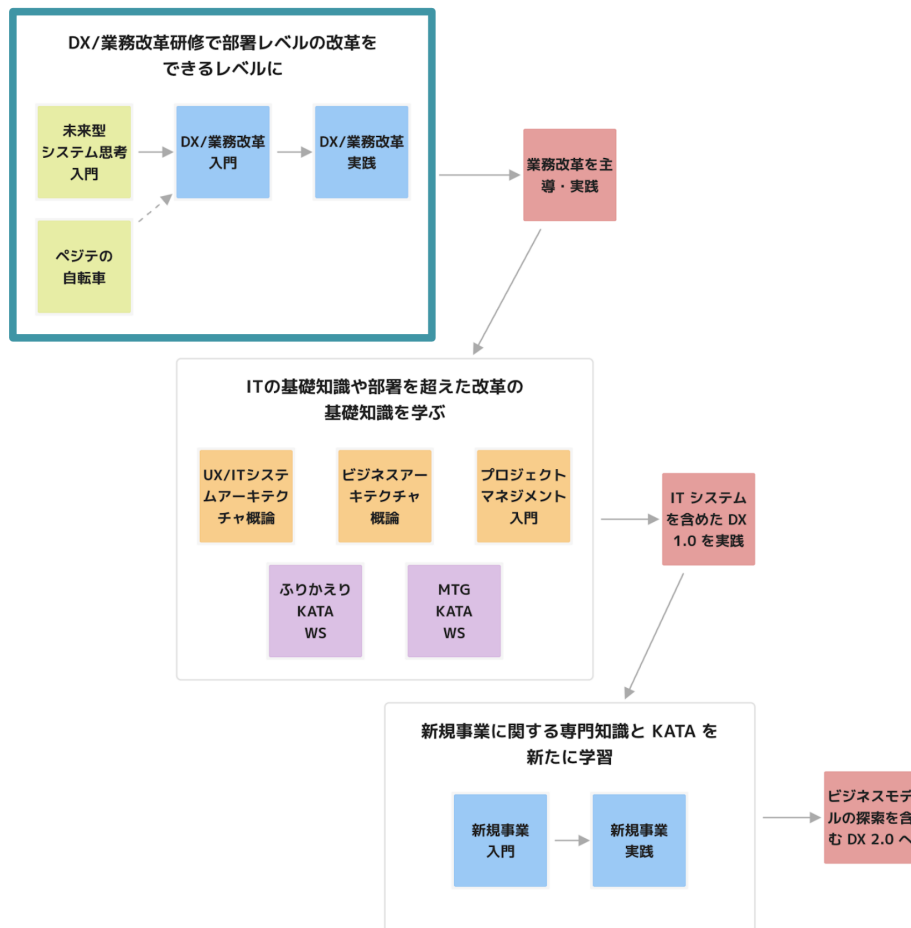
- 業務の目的・課題をモデルで可視化し、チームや関係者全員で問題解決策などを共通認識にできることは今後活かせると感じました（20代・建築）
- 業務改善を進めて行くために必要な考え方、捉え方が身についた（50代・建築）
- DXというと目新しいイメージがありますが、研修の考え方は段階を踏んでいこうという堅実なものだと思いました（Sler）
- 問題解決のための研修なのでDXに限らず幅広い組織で学ぶ価値があると感じた（Sler）
- ワーク中心の研修設計でグループメンバーと話し合っただけで答えや理解を深められたのが良かった（Sler）

研修全体の体系

DX/業務改革のレベルには、業務をITで置き換えるようなものから、ビジネスモデルの変革を伴うものまでいくつもの段階があります。

レヴィでは、ベースとなる未来型システム思考に加え、DX/業務改革のレベルに合わせて必要な要素も学習できる研修コースを揃えており、受講者のレベルに合わせた研修の組み合わせをご提案いたします。（会社ごとに必要な人材の人数やレベル感、今の状態も異なるので、そこに対して柔軟に対応できるような研修のセットをご用意しています）

例えば、業務部門の中堅人材を対象にする場合、「DX/業務改革研修」（緑枠部分）でまずは部署レベルの業務変革を実現できるようになった上で、「ITの基礎知識(いわゆるEラーニングなどで身につくものはレヴィでは取り扱わず、ソフトウェアを作る際の設計に関する知識を扱う)」や「プロジェクトマネジメント」、「ビジネスアーキテクチャ」など、IT部門や他部門を巻き込んで変革を進める力を身に付け、さらに新規事業を伴うものへと、段階的に複雑さや不確実性の範囲を広げていくような研修を提供できます。



完全オンラインでの実施にも対応

ニューノーマルなワークスタイルが浸透しはじめている今、このプログラムは完全オンラインでの実施が可能です。

基本的な構成はそのままに、リモートでの体験と学びに適したプランを用意しています。

オンライン実施をご希望の方は、お気軽にご相談下さい。

お気軽にお問い合わせ下さい

DX 人材の育成・活用にご関心のある方は、以下のフォームからお問い合わせ下さい。

お問い合わせフォーム：<https://levii.co.jp/services/#form>

また、その他不明な点がございましたらお気軽にお問い合わせ下さい。

問い合わせ先：contact@levii.co.jp